

授業改善書

科目名	エコツーリズム
担当者	宮越雅明

授業の概要

自然環境の保護・保全と観光ビジネスの両立の現状・問題点をいろいろな例（日本や海外のエコツーリズムの実態、国際的な環境保護関連団体の活動状況、観光関連企業の環境への取り組み、オーバーツーリズムなど）を検討しながら、持続可能な観光とは何かを学びます。

授業の問題点

自習・復習、質問や発言はそれぞれ3.85、3.10と低い数値になっていますが、なかなか改善できない点が問題で、今後の大きな課題です。

学生の授業満足度

授業の内容、満足度は、それぞれ4.77と4.54であり、一定の成果はあったのではないかと思います。環境問題は地球温暖化、食品ロス、オーバーツーリズムなど身近な問題であり、学生も積極的に授業に参加していたように思います。履修者が20名と少ないことも関係があるかと思っています。

授業改善の課題と方策

文字の少ない画像の多いパワーポイントと映像使用の授業は理解しやすかったようです。大きなテーマで話すことも大事ですが、身近な例・話題で話すことも必要だと感じました。バランスを取りながら授業に取り組んでいきたいと思っています。

その他

テキストなどの資料は適切でしたか・・・は、4.85とポイントが高く、他の科目の参考になります。

授業改善書

科目名	観光ホスピタリティ論
担当者	宮越雅明

授業の概要

作れば売れる10人1色の時代から、顧客の多様化の時代、10人10色、さらには1人10色にどのような対応が必要となるのか。有償性の今までのサービスでは対応できず、サービスを超えたサービス、無償性のホスピタリティ対応が望まれています。授業ではホスピタリティの歴史、日本文化とのかかわり、経済とのかかわりの中、具体的なホスピタリティ産業（宿泊産業、飲食業、観光業など）を例にとり、なぜホスピタリティマインドが必要なのかを学びます。

授業の問題点

95名の大人数でしたが、おおむね熱心に静かに受講していたのではないかと思います。学生の自習・復習はなかなか難しい問題ですが、宿題も一つの方法かもしれません。

学生の授業満足度

授業満足度はそれぞれ、4、38と4、40となっており、人数の割には一定の成果があったのではないかと思います。内容がホスピタリティ「おもてなし」ということで、アルバイトでの接客業務と重なる部分が多く興味を持てたのではないのでしょうか。

授業改善の課題と方策

文字を少なく、画像を多く取り入れたパワーポイントは理解しやすかったようです。映像はさらに評価が高かったように思います（別途実施のアンケートによる）。次回以降の授業の参考にしたいと思います。

その他

今後とも少しでも興味の沸くような楽しい授業を心掛けたいと思います。

授業改善書

科目名	観光マーケティング論
担当者	宮越雅明

授業の概要

観光業界におけるマーケティングの在り方を考えます。人が集まれば、お金が落ちる、お金が落ちれば地域が元気になる、地元が元気になれば経済が活性化する、この循環をいかに作り出すかをいろいろな事例を検討しながらマーケティングとは何か、またなぜ必要なのかを学びます。

授業の問題点

質問がほとんどないことは、よく理解できているのか、そうではないのか、授業が退屈なのかわかりませんが、授業には良く参加していると思います。学生の自習・復習はなかなか習慣化されず残念です。

学生の授業満足度

できるだけ身近な話題を例にとり（例：徳島県「葉っぱ」ビジネス、富士宮やきそば、京都嵯峨野トロッコ列車、道の駅、アニメや映画による地域活性化）、マーケティングとはどのようなものか、パワーポイントや映像を利用して授業を行いました。アンケートによる満足度は4.55とあり、一定の成果はあったものと思われま

授業改善の課題と方策

字体を大きく、文字を少なく、画像を多く取り入れたパワーポイントは理解しやすかったようですが、映像のほうがもっとわかりやすかったとの意見（別途実施のアンケートによる）が多くあり、次回以降の授業の参考にしたいと思います。

その他

今後とも少しでも興味の沸くような面白い授業を心掛けたいと思います。